



「VUCA時代」

校長 石ヶ森 孝順

3月に入り、6年生が「青雲小への恩返しプロジェクト」と題して、挨拶運動と清掃活動に取り組んでいました。自分の手を汚すことをためらわずに奉仕する姿が立派でした。

3月19日（火）の卒業式には、19名の卒業生が、小学校の教育課程を終え学び舎を巣立ちました。卒業生保護者と来賓の皆様にご臨席いただき、卒業生の輝く前途を祈念いたしました。

卒業式に向けた練習の過程では、インフルエンザが流行し、全校児童が揃っての練習は一度もできませんでしたが、当日は、心を込めてお祝いする在校生の姿があり、ほっとしました。

そして本日、令和5年度の修了式を迎えています。今年度は、学校の教育目標「たくましい子ども」を目指して、一つ一つの教育活動に意図をもち、全教職員で全校児童を導いてきました。

引き締まった空気感のある卒業式に集中して臨む青雲児の姿を見ましても、1年間の確かな成長を実感しているところです。

このような成果は、保護者の皆様が、学校の指導に深い理解を示してくださり、目指す子どもの姿を共有しながら、歩んでいただいたおかげと感じております。



経済界や教育界で、最近「VUCA（ブーカ）な時代」という言葉が使われています。

Volatility(変動性) Uncertainty(不確実性) Complexity(複雑性) Ambiguity(曖昧性)

「変動性・不確実性・複雑性・曖昧性」がうずまく社会で、これまで経験したことのない想定外の変化が起こることが、この時代の特徴とされています。

こうした時代に必要な教育は、前例のない問題に対して柔軟に対応し、様々な角度から物事を考え、新たな道を切り拓き、責任をもって行動する力を育成することが大切であると考えられます。教育目標「たくましい子ども」についても、形作られるのを待つよりも、自分で形作っていくたくましさという意味で捉え、新年度の教育に向かいたいと思います。

明日からの春休みは、希望に満ちて4月の入学・進級を迎えられますよう、学習環境の整理はもとより、お子さんの心と体の充電をお願いいたします。

次の学年でも、自己のよさを発揮し、磨き、可能性を開花できますよう、今後とも、本校教育への変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

